

作成日 2002/01/01

改訂日 2021/10/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 チオ硫酸ソーダ液(32%)
 製品コード 1420
 整理番号 303-0-05
 供給者の会社名称 エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社
 住所 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
 担当部門 RC推進部
 電話番号 044-540-0110
 FAX番号 044-540-0109
 緊急連絡電話番号 上記担当部門

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 GHS分類に該当するデータは得られていない。
 他の危険有害性 情報なし
 重要な徴候及び想定される非常事態の概要 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 チオ硫酸ナトリウム水溶液

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
チオ硫酸ナトリウム	32%	Na ₂ S ₂ O ₃	(1)-503	既存	7772-98-7
水	68%	H ₂ O	—	—	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 情報なし
 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
 医師に対する特別な注意事項 症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 この製品自体は、燃焼しない。
 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
 粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。
 棒状注水

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
 摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
 煙霧は空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

**環境に対する注意事項
 封じ込め及び浄化の方法及び機材**

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
 必要に応じた換気を確保する。
 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
 少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。
 盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
 必要があれば希塩酸、希硫酸などで中和する。
 中和の際は、発熱、発煙などに注意する。
 元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

飲み込みを避けること。
 皮膚との接触を避けること。
 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管

**接触回避
 衛生対策
 安全な保管条件**

『10. 安定性及び反応性』を参照。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 換気の良い場所で保管すること。
 酸化剤から離して保管する。
 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
チオ硫酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。 必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。
特別な注意事項		情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体	
形状	液体	
色	無色澄明	
臭い	無臭	
融点／凝固点	データなし	
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし	
可燃性	データなし	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
	下限	データなし
	上限	データなし
引火点	データなし	
自然発火点	データなし	
分解温度	データなし	
pH	約8.3(25℃)	
動粘性率	データなし	
溶解度	水に易溶	
n-オクタノール／水分配係数	データなし	
蒸気圧	データなし	
密度及び／又は相対密度	1.3(25℃)	
相対ガス密度	データなし	
粒子特性	データなし	
その他のデータ	情報なし	

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	一般的な取扱いにおいて安定
危険有害反応可能性	酸と接触すると、亜硫酸ガスを放出する。 強力な酸化剤と激しく反応する。水溶液は弱塩基である。
避けるべき条件	加熱、裸火、スパーク、発火源。混触禁止物質との接触。
混触危険物質	強酸、塩素(溶液)、ハロゲン、ヨウ素、鉛塩、水銀及び水銀塩、硝酸の金属塩、亜硝酸の金属塩、酸化剤、カリウム、ナトリウム、アルミニウム、マグネシウム。
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物、酸化ナトリウム
その他のデータ	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	LD50 > 5000mg/kg (ラット) データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。 情報なし
皮膚腐食性／皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		
呼吸器感受性		
皮膚感受性		
生殖細胞変異原性		
発がん性		
生殖毒性		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		
誤えん有害性		
その他のデータ		

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期 (慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
その他のデータ		情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物		廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態に内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装		容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	非該当
	UN No.	Not applicable
	Proper Shipping Name	Not applicable
	Class	Not applicable
	Sub Risk	Not applicable

	Packing Group	Not applicable
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
国内規制	航空規制情報	非該当
	UN No.	Not applicable
	Proper Shipping Name	Not applicable
	Class	Not applicable
	Sub Risk	Not applicable
	Packing Group	Not applicable
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非該当
	国連番号	非該当
	品名	非該当
	クラス	非該当
	副次危険	非該当
	容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当	
MARPOL 73/78 附属書 II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当	
特別の安全対策	航空規制情報	非該当
	国連番号	非該当
	品名	非該当
	クラス	非該当
	副次危険等級	非該当
緊急時応急措置指針番号		混触禁止物質と混載しない。「10. 安定性及び反応性」を参照。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 転落、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 なし
15. 適用法令	労働安全衛生法	非該当
	毒物及び劇物取締法	非該当
	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
	外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

参考文献

ezSDS(JCDB)
化学物質総合情報提供システム (NITE)
STNデータベース (MSDS-OHS,RTECS)
神奈川県化学物質安全情報提供システム
(kis-net)

その他

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。